

アンケート調査票

鳥取県西部地震震災体験調査

平成13年3月

企画 鳥取県生活環境部防災危機管理室
鳥取大学工学部 教授 西田良平
実施 (株)情報サービス鳥取

鳥取県西部地震に関して、県民の皆様の体験を収集・記録し、今後の地震防災対策の基礎資料として活用させていただくことを目的に、「鳥取県西部地震震災体験調査」を実施することになりました。お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願ひします。

調査に回答する人

この体験調査では、御自宅を中心とした震災体験について、御家族の皆様で回答してください。

回答に当たってのお願い

- 調査内容は、大きく分けて、Ⅰ「地震発生時の状況」、Ⅱ「防災活動の状況」、Ⅲ「震災の体験談」の3項目あります。
- 回答に当たっては、それぞれの質問の指示に従って、順にお答えください。
- 選択方式の回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。
- 質問には、○印をつける数を指定していますので、注意してください。
- 「その他」の番号を選んだ場合や、「具体的に記入」とある質問は、空欄に記述してお答えください。
- どれとも決めにくい場合は、感じの近い方を選んで回答するなど、記入漏れがないようにしてください。
- 個人のお名前が公表されることはありませんので、安心して回答してください。

御回答いただきました調査票は、同封しました返信用封筒を使って、**3月27日(火)**までに投函していただきますようお願ひします。

【問い合わせ先】

鳥取県生活環境部防災危機管理室（担当：馬田又は吉野）
電話：0857-26-7873
株式会社情報サービス鳥取（調査担当：山中）
電話：0857-22-1651

Ⅰ 「地震発生時の状況」について

平成12年10月6日(金)午後1時30分に、鳥取県西部地震が発生しましたが、その時の御自宅(自宅の敷地内やその周囲を含む。)での状況について、お答えください。

問1 あなたの自宅には、何人住んでいましたか。複数世帯の場合は、その合計人数をお答えください。(○印は一つだけ)

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人 ④ 4人 ⑤ 5人 ⑥ その他()人

問2 地震発生時、自宅にいた人は、何人ですか。(○印は一つだけ)

- ① 0人 ② 1人 ③ 2人 ④ 3人 ⑤ 4人 ⑥ その他()人

問3 自宅にいた人は、自宅のどこにいましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- ① 居間 ② 台所 ③ 自室
④ 庭 ⑤ 別棟・倉庫 ⑥ 自宅の周囲
⑦ その他()

問4 自宅にいた人は、何をしていましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- ① 休憩 ② 家事 ③ 家事以外の仕事
④ テレビ ⑤ 食事 ⑥ その他()

問5 自宅にいた人で、自宅の2階以上にいた人は、何人ですか。(○印は一つだけ)

- ① 0人 ② 1人 ③ 2人 ④ 3人 ⑤ 4人 ⑥ その他()人

問6 自宅(母屋)の構造は、何ですか。(○印は一つだけ)

- ① 木造平屋建 ② 木造2階建
③ 鉄筋コンクリート造2階建 ④ 鉄骨造2階建
⑤ ブロック(レンガ)造2階建 ⑥ その他(造 階建)

問7 自宅(母屋)が建てられたのは、何年ですか。(○印は一つだけ)

- ① 昭和35年以前 ② 昭和36～45年 ③ 昭和46～55年
④ 昭和56～64年 ⑤ 平成元年以降

問8 自宅での地震の揺れ方は、どのように感じましたか。(○印は一つだけ)

- ① 縦揺れのみ
- ② 縦揺れと横揺れ(1回)
- ③ 縦揺れと横揺れ(2回以上)
- ④ 横揺れのみ
- ⑤ 感じた者がいなかった。
- ⑥ その他 ()

問9 揺れは、何秒くらい続いたと感じましたか。(○印は一つだけ)

- ① 5秒以内
- ② 5～10秒
- ③ 10～30秒
- ④ 30～60秒
- ⑤ 60秒以上
- ⑥ 感じた者がいなかった

問10 揺れを感じたとき、怖さの程度は、どのようなものでしたか。

(あてはまるものすべてに○印)

- ① 全く平気であった
- ② 少々怖いと思った
- ③ かなり怖いと思った
- ④ 非常に怖いと思った
- ⑤ 絶望的になった
- ⑥ 感じた者はいなかった

問11 自宅にいた人で、地震発生時に、とっさにとった行動は何ですか。

(あてはまるものすべてに○印)

- ① たばこの火の始末をした
- ② ガスの元栓を閉めた
- ③ 驚いて、何もできなかった
- ④ 閉じこめられたり、けがをして、動けなかった
- ⑤ そのまま様子をみた(何もしなかった)
- ⑥ テーブルの下にかくれた
- ⑦ 家の外に逃げた
- ⑧ その他 ()
- ⑨ 自宅に人がいなかった

問12 自宅で、どのような被害が発生しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- ① 家が全壊した
- ② 家が半壊した
- ③ 家の屋根、壁、床、建具等が一部破損した
- ④ 液状化の被害(家が傾いた)があった
- ⑤ 窓ガラスが破損した
- ⑥ 家具が転倒した
- ⑦ 食器・電化製品・装飾品等が損傷した
- ⑧ 塀、倉庫、車庫、工作物等が倒壊又は破損した
- ⑨ 電話が不通となった
- ⑩ 停電した
- ⑪ ガスがとまった
- ⑫ 水道が止まった
- ⑬ その他 ()
- ⑭ 何も被害はなかった

問13 家族の皆様に、けががありましたか。(あてはまるものすべてに○印)

- ① 全員けがはなかった
- ② 家の損壊、建具の破損、ガラスの破片でけがをした
- ③ 家具、電化製品、装飾品等の転倒、落下でけがをした
- ④ 避難途中に、つまずいたり、ぶつかったりして、けがをした
- ⑤ けががあったが、その原因はわからない
- ⑥ その他()

問14 自宅又は自宅付近で、鳥取県西部地震が発生する予兆(異常)を感じましたか。また、それはいつ頃ですか。(あてはまる項目について、具体的に記入)

- ① 自然現象や周辺環境(気象、天候、雲、草木、土石、水質等)に予兆を感じた()
- ② 動物(家畜やペット、鳥類、魚類、は虫類、昆虫類など)の行動に予兆を感じた()
- ③ その他の予兆を感じた()
- ④ 予兆は感じられなかった

問15 地震発生前に、地鳴りを聞きましたか。地鳴りを聞いた時期は、いつ頃ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- ① 10月6日当日の地震発生前
- ② 10月1日～5日の間
- ③ 9月の間
- ④ 1月～8月までの間
- ⑤ それ以前から(平成11年以前)
- ⑥ 地鳴りを聞いた者はいない

問16 地震の直前あるいは直後に、しばしば屋外で発光現象(原因不明の光)の目撃が紹介されますが、見た人がいますか。(○印は一つだけ)

- ① いる(→問17へ)
- ② いない(→II「防災活動の状況」へ)

問17 発光現象を見た人(問16で「いる」と答えた方)に伺います。見た状況や現象を具体的にお答えください。

{	時期:	場所:
	時間:	位置:
	方角:	距離:
	高さ:	大きさ:
	形:	色:
	その他:	

問5 地震の揺れがおさまった後、約2時間以内に行ったことは、何ですか。
(あてはまるものすべてに○印)

- ① けがの手当、救急通報
- ② 家族の安否確認、職場への連絡
- ③ 避難(避難の準備)
- ④ テレビ、ラジオによる情報収集
- ⑤ 市町村等行政機関へ問い合わせ
- ⑥ 消防団・自主防災会活動
- ⑦ 屋外や隣近所の状況把握
- ⑧ 自宅の片づけ、家の見回り、点検
- ⑨ そのまま様子をみた(何もしなかった)
- ⑩ その他()

問6 地震発生後に、真っ先に知りたかった防災情報は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 市町村別の震度情報
- ② 余震の発生見込み
- ③ 被害情報(死者、負傷者、倒壊家屋数等)
- ④ ライフライン(電気、水道、電話、ガス)被害情報とその復旧情報
- ⑤ 公共施設(道路、鉄道、空港、河川)被害情報とその復旧情報
- ⑥ 県、市町村の災害対策情報
- ⑦ 自衛隊、消防局などの救援活動情報
- ⑧ 生活支援情報
- ⑨ 避難所情報
- ⑩ その他()

問7 知りたかった防災情報は、十分得られましたか。十分でなかった防災情報、今後充実すべき防災情報は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 市町村別の震度情報
- ② 余震の発生見込み
- ③ 被害情報(死者、負傷者、倒壊家屋数等)
- ④ ライフライン(電気、水道、電話、ガス)被害とその復旧情報
- ⑤ 公共施設(道路、鉄道、空港、河川)被害とその復旧情報
- ⑥ 県、市町村の災害対策情報
- ⑦ 自衛隊、消防局などの救援活動情報
- ⑧ 生活支援情報
- ⑨ 避難所情報
- ⑩ その他()

問8 特に、県、市町村から提供すべき防災情報は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 市町村別の震度情報
- ② 余震の発生見込み
- ③ 被害情報(死者、負傷者、倒壊家屋数等)
- ④ ライフライン(電気、水道、電話、ガス)被害とその復旧情報
- ⑤ 公共施設(道路、鉄道、空港、河川)被害とその復旧情報
- ⑥ 県、市町村の災害対策情報
- ⑦ 自衛隊、消防局などの救援活動情報
- ⑧ 生活支援情報
- ⑨ 避難所情報
- ⑩ その他()

問9 御家族にとって、とても有効であった災害対策は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 炊き出し
- ② 弁当の供給
- ③ ビニールシートの配布
- ④ 給水
- ⑤ ボランティアの派遣
- ⑥ メンタルケアの実施
- ⑦ 義援金の受給
- ⑧ 応急危険度判定の実施
- ⑨ リ災証明書の発行
- ⑩ 住宅再建支援制度
- ⑪ 生活再建支援制度
- ⑫ 住宅解体助成制度
- ⑬ その他()

問10 御家族にとって、とても不満と感じた災害対策は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 炊き出し
- ② 弁当の供給
- ③ ビニールシートの配布
- ④ 給水
- ⑤ ボランティアの派遣
- ⑥ メンタルケアの実施
- ⑦ 義援金の受給
- ⑧ 応急危険度判定の実施
- ⑨ リ災証明書の発行
- ⑩ 住宅再建支援制度
- ⑪ 生活再建支援制度
- ⑫ 住宅解体助成制度
- ⑬ その他()

問11 差し支えなければ、不満であった災害対策の理由を、お答えください。
(具体的に記入)

[]

問12 近い将来、鳥取県の西部地域で、同様の規模（マグニチュード7.0以上）の地震が発生すると思いますか。（○印は一つだけ）

- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 1月以内に発生 | ② 1月以上～1年以内に発生 |
| ③ 1年以上～10年以内に発生 | ④ 10年以上～50年以内に発生 |
| ⑤ 50年以上～100年以内に発生 | ⑥ 100年以上の遠い将来に発生 |
| ⑦ 発生するとは思わない | |

問13 今回の地震を契機に、御家族で取り組みたい防災対策は、何ですか。（○印は3つ以内）

- ① 非常持出袋、備蓄食糧、その他防災用品を準備すること
- ② 自宅の家具等を固定すること
- ③ 家族と災害時の避難場所、連絡方法など、家族で防災会議を開くこと
- ④ 地域の防災訓練や自主防災組織に積極的に参加すること
- ⑤ 地震や防災について勉強すること
- ⑥ 家を耐震化すること
- ⑦ その他（
- ⑧ 特になし

問14 今回の地震を契機に、県や市町村で早急に防災対策を強化すべきと考えることは、何ですか。（○印は5つ以内）

- ① 防災危機管理組織の充実
- ② 災害時の防災情報の充実
- ③ 防災関係機関の防災訓練の充実
- ④ 防災意識の普及啓発、日ごろの防災情報の提供
- ⑤ 地域住民の自主的な防災活動への支援
- ⑥ 備蓄物資の充実
- ⑦ 地震や活断層に関する調査研究
- ⑧ 学校等における防災教育の実施
- ⑨ 被災者住宅再建制度の充実
- ⑩ 被災者生活再建支援制度の充実
- ⑪ 公共施設、ライフラインの耐震化
- ⑫ 災害ボランティア制度の確立
- ⑬ 消防局、消防団の充実強化
- ⑭ その他（
- ⑮ 特になし

III 「震災の体験談」について

鳥取県西部地震の体験を通じて、思ったこと、感じたこと、よかったこと、悪かったこと、後々のために伝えたいこと、貴重な資料の存在など、自由にお答えください。

また、体験談の聞き取り希望の有無、震災に関する資料提供の可否について、どちらかお答えください。

※ この用紙でなく、別の用紙に記入されても構いません。(様式不問)

○思ったこと、感じたこと

○よかったこと、悪かったこと

○後々のために伝えたいこと

○貴重な資料の存在、など

※ 体験談の聞き取り希望について

① 有り

② 無し

震災資料の提供の可否について

① 可

② 不可

差し支えなければ、内容確認のため、連絡先を記入してください。

住 所

氏 名

年齢 歳代

電話番号

御協力ありがとうございました。記入漏れがないかどうか、もう一度確認をお願いします。

鳥取県西部地震震災体験調査

平成13年3月

企画 鳥取県生活環境部防災危機管理室
鳥取大学工学部 教授 西田良平
実施 (株)情報サービス鳥取

鳥取県西部地震に関して、防災関係者の体験を収集・記録し、今後の地震防災対策の基礎資料として活用させていただくことを目的に、「鳥取県西部地震震災体験調査」を実施することになりました。お忙しいところ恐れ入りますが、よろしくお願ひします。

調査に回答する人

この体験調査では、防災関係者御自身の震災体験（災害活動）について、回答してください。

回答に当たってのお願い

- 調査内容は、大きく分けて、Ⅰ「地震発生時の状況」、Ⅱ「防災活動の状況」、Ⅲ「震災の体験談」の3項目あります。
- 回答に当たっては、それぞれの質問の指示に従って、順にお答えください。
- 選択方式の回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。
- 質問には、○印をつける数を指定していますので、注意してください。
- 「その他」の番号を選んだ場合や、「具体的に記入」とある質問は、空欄に記述してお答えください。
- どれとも決めにくい場合は、感じの近い方を選んで回答するなど、記入漏れがないようにしてください。
- 個人のお名前が無断で公表されることはありませんので、安心して回答してください。

御回答いただきました調査票は、同封しました返信用封筒を使って、**3月27日(火)**までに投函していただきますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

鳥取県生活環境部防災危機管理室（担当：馬田又は吉野）
電話：0857-26-7873
株式会社情報サービス鳥取（調査担当：山中）
電話：0857-22-1651

I 「地震発生時の状況」について

平成12年10月6日(金)午後1時30分に、鳥取県西部地震が発生しましたが、その時のあなたの状況、地震に対する意識について、お答えください。

問1 地震発生時、あなたはどこで何をしていましたか。
(差し支えない範囲で、具体的に記入)

()

問2 地震発生時のあなたの災害対策活動の役割は、何ですか。(具体的に記入)

()

問3 地震発生時のあなたの参集場所は、どこですか。また、地震発生後、そこには何分後に到着しましたか。(具体的に記入)

()

問4 鳥取県西部地震のような大きな地震が、近々発生すると思っていましたか。
(○印は一つだけ)

- ① 思っていた ② 思っていなかった

問5 地震が発生した時に、最も危険と感じたことは、何ですか。(○印は一つだけ)

- ① 家屋倒壊 ② 火災 ③ 崖崩れ
④ 津波 ⑤ その他 ()
⑥ 何も思わなかった

問6 近い将来、鳥取県の西部地域で、同様の規模(マグニチュード7.0以上)の地震が発生すると思いますか。(○印は一つだけ)

- ① 1月以内に発生 ② 1月以上～1年以内に発生
③ 1年以上～10年以内に発生 ④ 10年以上～50年以内に発生
⑤ 50年以上～100年以内に発生 ⑥ 100年以上の遠い将来に発生
⑦ 発生するとは思わない

問4 必要とした防災情報は、十分得られましたか。十分でなかった防災情報、今後充実すべき防災情報は何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 市町村別の震度情報
- ② 余震の発生見込み
- ③ 被害情報(死者、負傷者、倒壊家屋数等)
- ④ ライフライン(電気、水道、電話、ガス)被害とその復旧情報
- ⑤ 公共施設(道路、鉄道、空港、河川)被害とその復旧情報
- ⑥ 県、市町村の災害対策情報
- ⑦ 自衛隊、消防局などの救援活動情報
- ⑧ 生活支援情報
- ⑨ 避難所情報
- ⑩ その他()

問5 特に、県、市町村から提供すべき防災情報は、何ですか。(○印は3つ以内)

- ① 市町村別の震度情報
- ② 余震の発生見込み
- ③ 被害情報(死者、負傷者、倒壊家屋数等)
- ④ ライフライン(電気、水道、電話、ガス)被害とその復旧情報
- ⑤ 公共施設(道路、鉄道、空港、河川)被害とその復旧情報
- ⑥ 県、市町村の災害対策情報
- ⑦ 自衛隊、消防局などの救援活動情報
- ⑧ 生活支援情報
- ⑨ 避難所情報
- ⑩ その他()

問6 今回の震災対策で、特に有効であった災害対策は、何だと思えますか。(○印は3つ以内)

- ① 炊き出し
- ② 弁当の供給
- ③ ビニールシートの配布
- ④ 給水
- ⑤ ボランティアの派遣
- ⑥ メンタルケアの実施
- ⑦ 義えん金の受給
- ⑧ 応急危険度判定の実施
- ⑨ り災証明書の発行
- ⑩ 住宅再建支援制度
- ⑪ 生活再建支援制度
- ⑫ 住宅解体助成制度
- ⑬ その他()

問7 今回の震災対策で、不十分であったと思われる災害対策は、何だと思いませんか。
(○印は3つ以内)

- | | |
|--------------|--------------|
| ① 炊き出し | ② 弁当の供給 |
| ③ ビニールシートの配布 | ④ 給水 |
| ⑤ ボランティアの派遣 | ⑥ メンタルケアの実施 |
| ⑦ 義援金の受給 | ⑧ 応急危険度判定の実施 |
| ⑨ り災証明書の発行 | ⑩ 住宅再建支援制度 |
| ⑪ 生活再建支援制度 | ⑫ 住宅解体助成制度 |
| ⑬ その他 () | |

問8 問7で回答した災害対策が、不十分であったと思われる理由を、お答えください。
(具体的に記入)

()

問9 今回の地震を契機に、県や市町村で早急に防災対策を強化する必要があると考えられることは、何ですか。(○印は5つ以内)

- ① 防災危機管理組織の充実
- ② 災害時の防災情報の充実
- ③ 防災関係機関の防災訓練の充実
- ④ 防災意識の普及啓発、日ごろの防災情報の提供
- ⑤ 地域住民の自主的な防災活動への支援
- ⑥ 備蓄物資の充実
- ⑦ 地震や活断層に関する調査研究
- ⑧ 学校等における防災教育の実施
- ⑨ 被災者住宅再建制度の充実
- ⑩ 被災者生活再建支援制度の充実
- ⑪ 公共施設、ライフラインの耐震化
- ⑫ 災害ボランティア制度の確立
- ⑬ 消防局、消防団の充実強化
- ⑭ その他 ()
- ⑮ 特になし

III 「震災の体験談」について

鳥取県西部地震の体験を通じて、思ったこと、感じたこと、よかったこと、悪かったこと、後々のために伝えたいこと、教訓となったことなど、明日の防災につながる（つなげたい）提言等について、自由にお答えください。

また、体験談の聞き取り希望の有無、震災に関する資料提供の可否について、どちらかお答えください。

※ この用紙でなく、別の用紙に記入されても構いません。（様式不問）

思ったこと、感じたこと

よかったこと、悪かったこと

後々のために伝えたいこと

教訓となったこと、など

※ 体験談の聞き取り希望について ① 有り ② 無し

震災の資料提供の可否について ① 可 ② 不可

内容確認のため、あなたの連絡先を記入してください。

職場名 _____

職名・氏名 _____ 年齢 _____ 歳代 _____

電話番号 _____

御協力ありがとうございました。記入漏れがないかどうか、もう一度確認をお願いします。

平成12年鳥取県西部地震震災体験記録

平成13年10月発行

編集・発行 鳥取県防災危機管理課

住 所 鳥取市東町一丁目271番地

電 話 0857-26-7064
